

平成30年度第2回下野市ふれあい学習推進委員会 議事録（要旨）

- ・ 審議会等名 平成30年度第2回下野市ふれあい学習推進委員会
 - ・ 日 時 平成31年2月18日（月）15時00分～16時30分まで
 - ・ 会 場 国分寺公民館 大ホール
 - ・ 出 席 者 委員長 上野一成
副委員長 青木浩美
委 員 阿嶋敬一、芋川春恵、高橋由枝、杉山薫、熊倉悠気、柳澤しのぶ、木下恵、澤田貴典、坂本順子、安野和美、近江成美、古沢 誠一、小栗昭彦、日向野みさき、鈴木みどり、鯨昭文、奥澤知行、田口春代、高橋葉子、渡邊欣宥、横島聡子、藤沢修一、大島三樹子、間中康夫、大貫義見、齋藤正明、上野保久
- 【欠席委員】 渡辺等
- ・ 出席職員 教育長 池澤勤
生涯学習文化課長 手塚芳子
生涯学習推進グループ 大門啓美、漆原聡、松岡貴之
生涯学習情報センター所長 富永康則
生涯学習情報センター職員 広木俊夫
 - ・ オブザーバー 下都賀教育事務所 ふれあい学習課 鈴木正俊社会教育主事
 - ・ 公開・非公開の別 （ 公 開 ・ 一部公開 ・ 非公開 ）
 - ・ 傍 聴 人 なし
 - ・ 報道機関 なし
 - ・ 議事録（概要）作成年月日 平成31年2月22日

○会議次第

1. 開会
2. 委員長あいさつ
3. 教育長あいさつ
4. 議題
 - (1) 平成30年度ふれあい学習推進事業・家庭教育学級実績報告について
 - (2) 平成31年度ふれあい学習推進事業・家庭教育学級実施計画について
 - (3) 学校支援ボランティアバンクの管理運営及びコーディネート実績報告について
 - (4) その他
5. 閉会

【協議事項等】

1. 開会

(事務局) ただいまより、平成30年度第2回下野市ふれあい学習推進委員会を開会いたします。

2. 委員長あいさつ

(上野委員長) 本日は、事前に皆様方から来年度の実施計画や今年度の実績等を報告いただき、色々と資料が出来上がっております。「今年度こんな授業をやったらこんな素晴らしいものになった」「私の学校でこんな講師を呼んだらとても良かった」という情報を共有することで、各学校のふれあい学習が盛り上がっていくのではないかと思います。ふれあい学習をより良いものにしていくために、一つでも二つでも情報を共有することがこの会議の一番大きな狙いだと考えております。ぜひ、忌憚のない意見を言っていただき、各学校の活動が少しでも良くなるよう祈念して委員長挨拶とさせていただきます。本日は宜しく申し上げます。

3. 教育長あいさつ

(池澤教育長) この委員会は昨年8月27日に第1回の委員会を開催させていただきました。今年度からこの委員会を「地域とともにある学校づくり連絡協議会」としての性格を持つものにしていきたいという思いは、十分に皆様にお伝えしてきたところです。本日は2回目となる訳ですが、各学校の地域連携教員の方々、昨年4月より始まりました学校運営協議会の中学校区ごとの代表の皆様、地域学校協働活動推進員の方々、小中一貫統括コーディネーターを交えた会議になります。先生方には、昨年の4月1日より学校評議員会に代わる学校運営協議会について、この1年間、大変ご骨折りをいただいているところですが、あくまでも中学校区ごとの地域に応じた取り組みをしていただければ大変ありがたいと思う訳であります。小さな取り組みを増やしていくことにも色々な課題があります。一つは学校支援ボランティアさんの育成と活用をどう学校の中に取り入れていくか。また、学校運営協議会の皆さんのお力をお借りしながら、各中学校区ごとに作り上げている「育てたい子ども像」を具体的に実現していくためにはどのような取組が必要なのか、これが非常に重要なところであります。従いまして、昨年と同じことをやっていたのでは実現に繋がらない。この中にも参加された方もいるかと思いますが、先日この国分寺公民館で「下都賀地区ふれあい学習ネットワーク」会議が開かれました。下都賀全体でこの課題に向き合っている訳であります。そういった意味では、組織を作ったのはいいが、「じゃあ何をするの」となった場合に、それぞれの学校の担当者が中心となって、上から降りてくる課題や周りの会議から出てくる課題だけでなく、自分から課題を探していき、「どうしようかな」という部分を、隣の学校の同じ担当の人と情報交換し合う。そのような絆が出来てくるといいのかなと思います。昨年の秋口、地域学校協働活動推進員の先生方が直接学校にお伺いし、地域連携教員の方々とは色々な意見交換をしたことと思います。毎月一回、地域学校協働活動推進員の方々と情報交換をしておりますので、学校の状況は把握しており、皆さんが本当に頑張っている様子も事前に色々聞いておりますので、本当にありがたいなと思っております。「この学校にはこういうものが必要だから、皆でこうやりましょ

う」という切り口が大事だと思います。今日は藤沢委員もお見えになっておりますが、例えば、石橋中学校区においては一大イベントであるグリムの森イルミネーションに子どもたちが積極的に関われる環境を作っていただいている。石橋中の部活動の子が中心となり参画してもらっているのですが、こういうまたとない絶好の機会を「やらされている」と捉えるか、それとも積極的に関わるのか、これはやはり担当の先生の切り口だと思います。それによっては終わった後の充実感が全然違うと思います。その子たちが大きくなっていくと、自分の生まれ育った所には「こんなにすごいものがある」というのが言われなくても体験・感動を通して覚えている訳です。「あの美しいイルミネーションは僕たちが力を合わせて作り上げて、片付けも手伝ったよ」「美味しいジュースも貰ったよ」という素晴らしい思い出として残る訳です。今年は残念ながら蔵王祭ができなかったのですが、そういった地域に残されたものを基にしながら来年はこのような活動をしたい、という部分をぜひ教えてもらえればと、楽しみにしております。本日は2回目の情報交換会になりますので、実りあるものにしてもらえればありがたいと思っております。また下都賀教育事務所から鈴木社会教育主事の先生もお見えになっております。忌憚のない助言とご指導をいただければありがたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

4. 議題

(上野委員長)

- (1) 平成30年度ふれあい学習推進事業・家庭教育学級実績報告について
- (2) 平成31年度ふれあい学習推進事業・家庭教育学級実施計画について

[資料1、2に基づき、各学校の地域連携教員より一括して説明]

- (3) 学校支援ボランティアバンクの管理運営及びコーディネート実績報告について

[資料3に基づき、生涯学習情報センター富永所長より説明]

(富永所長) 今年度の各学校と当センターとの連携による、学校支援に係るボランティア活動のコーディネートについてご説明致します。現在、学校支援ボランティアバンクには352名の方が登録されております。今年度は、6月から今月までに19件のコーディネート依頼がありまして、既に18件実施致しました。今後1件実施予定ですが、この資料作成後にまた2件ご依頼がありまして、現在コーディネート中であります。今年度は特に、「職業人に学ぶ」キャリア教育に37名のボランティア依頼がありまして、昨年度に比べて、倍以上の人数を活用いただきました。ボランティアの方も生徒に対して、教え方や伝え方などを色々工夫しているようでして、皆さんとても勉強になるとおっしゃっておりました。今後も積極的に学校支援ボランティアの有効活用に努めてまいりたいと思っておりますので、宜しくお願いします。以上簡単ではありますが、資料3の説明とさせていただきます。学校の皆様にお願ひがあります。ご存知のように当センターでは学校とボランティアの方を繋ぐコーディネートの役割を担っておりますが、コーディネートにつきましては各学校の希望する方をこちらでお探しして、実施日時や事前の概要説明なども行い、講師の方の都合もある程度余裕を持

った時間が必要になります。今年度、数件、コーディネート依頼を受けてから実施に至るまでのスケジュールが非常にタイトな案件が見受けられました。「せっかくのご依頼で行きたいけど既に予定が入っていて行けない、とても残念だ」とお断りをいただいたボランティアの方もいました。ボランティア依頼の際には活動日時まで余裕を持って、早めにセンターまでご連絡くだされば幸いです。また併せて、先生方には大変お忙しい所なのですが、活動報告書の提出につきましても実施後は早めの提出をお願い致します。宜しくお願いします。

(4) その他

(事務局)

本日の会議を持って今年度のふれあい学習委員会は終了となります。来年度も引き続き、ご協力お願いします。この後、来年度の家庭教育学級のやり方等について説明がございますので、地域連携教員の先生方におかれましては閉会后、お残りいただくようお願いします。

5. 閉会

(事務局)

これもちまして、第2回下野市ふれあい学習推進委員会を終了します。ありがとうございました。